

目次/編集方針

トップ
メッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

製品責任

環境経営

人権の尊重

労働慣行

サプライチェーン
マネジメント

社会貢献活動

経営基盤

データ集ほか

>サステナビリティの考え方 >CSR推進体制 >CSRにおける重点課題 >ステークホルダーとの対話

CSR推進体制

CSR委員会を中心とした体制のもと、グループ全体で社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

ニコングループにおけるCSR推進体制

ニコングループでは、持続可能性(サステナビリティ)への取り組みをグループで推進するため、社長を委員長とし、経営委員会メンバーなどを委員とする「CSR委員会」を設置しています。CSR委員会は年2回開催し、目標設定、各活動の進捗確認および改善指示など、持続可能性にかかわる活動全体の意思決定を行っています。傘下には、企業倫理委員会、環境委員会、サプライチェーン部会を設置しています。

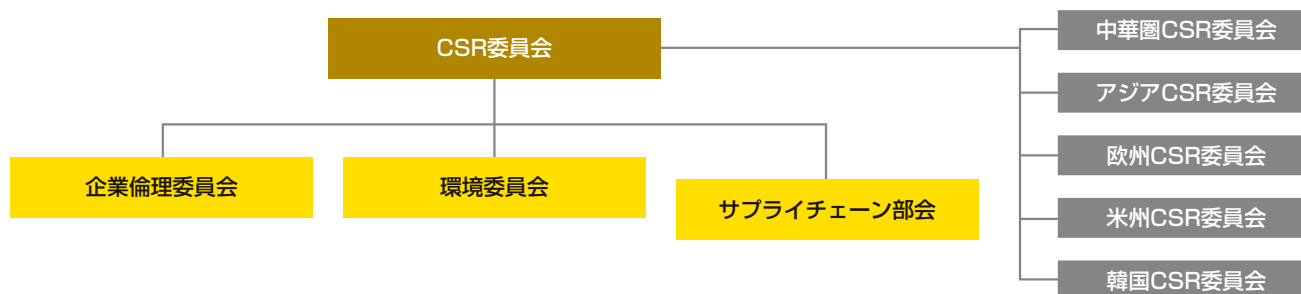
海外グループ会社に対するCSR推進

ニコングループは、文化や習慣、言語など、それぞれの地域特性を考慮しつつ、一貫性のある取り組みを進めるため、海外の地域持株会社にCSRの統括推進機能を設置しています。日本のほか、ニコングループが事業を展開する全地域を5つに分け、各地域にグループ会社社長などをメンバーとするCSR委員会と、各社のCSRコーディネーターをメンバーとするCSR連絡会を設置しています。

また、年に一度、CSR担当部門を集めてCSRグローバル会議を開催し、各地域の社会動向や活動の進捗、課題などを共有・議論しています。

※「中華圏」を中国、香港、台湾、「アジア地域」を中華圏と韓国を除くその他のアジア、およびオセアニア、中東としています。

CSR推進体制図(2017年4月1日現在)



CSR意識啓発

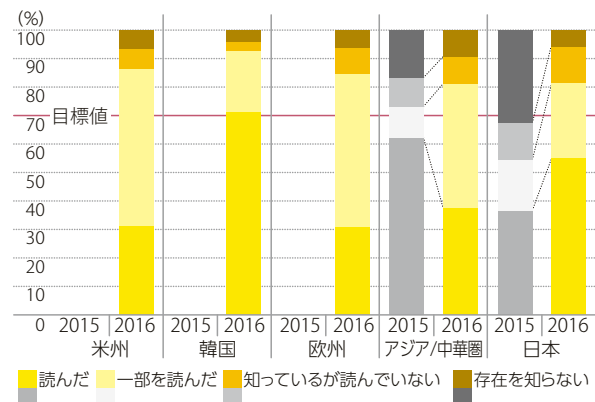
ニコングループでは、CSR意識の底上げを目的に、グループ従業員を対象としたCSRニュースレターを15言語で発行しています。毎号、国連グローバル・コンパクトの4分野にかかわるテーマを取り上げるとともに、企画段階から海外の各地域持株会社のCSR部門の意見を取り入れ、海外グループ会社従業員も意識した記事づくりを心掛けています。2017年3月期は、SDGsに関する連載をスタートしました。また、昨今の個人情報保護に対する社会的関心の高まりを踏まえ、情報セキュリティに関する記事も掲載しました。CSR委員会では、外部有識者を講師に招き、役員ともCSRの国際動向などについて情報を共有しています。なお、グローバルに実施している従業員への意識調査において、CSRニュースレターの認知度を調査した結果、2017年3月期の目標として設定していた認知度70%以上をグローバルで上回り、85.02%となりました。



CSRニュースレター

>サステナビリティの考え方 >CSR推進体制 >CSRにおける重点課題 >ステークホルダーとの対話

CSR意識調査結果



国連グローバル・コンパクトへの取り組み

ニコンでは、2007年に国連グローバル・コンパクトに署名し、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を尊重しています。

国連グローバル・コンパクト10原則に対する2017年3月期の主な実績

	個別方針	管轄	実績
人権/労働	ニコンCSR調達基準	サプライチェーン部会	ニコンCSR 調達基準による調達パートナーへの調査および、その分析結果に基づく監査や改善計画書の提出要請を実施
	紛争鉱物対応方針	紛争鉱物検討会議	調達パートナーへの紛争鉱物調査を実施
環境	環境管理基本方針	環境委員会	環境マネジメントシステムをニコングループ全体に展開し、環境アクションプランに則った活動を実施
	ニコングリーン調達基準	サプライチェーン部会	環境管理システムに関する調達パートナーへの調査と監査を実施
腐敗防止	ニコン贈収賄防止方針	企業倫理委員会	地域ごとにニコン贈収賄防止方針のガイドラインを策定し、その教育と運用を実施